

2021 年度 個人研究実績・成果報告書

2022 年 2 月 5 日

所属	商経学部	職名	教授	氏名	内海幸久
研究課題	機械学習による自然言語処理と理解・社会現象の数理解析への応用				
研究キーワード	人工知能・機械学習	当年度計画に対する達成度	3.概ね順調に研究が進展し、一定の成果を達成したが、一部に遅れ等が発生した		
関連するSDGs項目	9.産業と技術革新の基盤をつくろう	該当なし	該当なし	該当なし	
<p>1. 研究成果の概要</p> <p>研究概要に沿って列挙する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対話 AI の機械学習 対話データの作成を行った。オリジナルのデータセットを作成中である。 ・SOTA プロジェクト 今期は対面の機会に恵まれたため、SOTA を利用したプロジェクトは最小限にとどめた。具体的には、SOTA を利用したプレゼンテーションを実施した。 ・社会現象の数理解析手法の研究 余剰分配問題に関する解概念の公理化を行った。機械学習の手法である埋め込み回帰分析について幾つかの性質を明らかにした。 <p>2. 著書・論文・学会発表等（査読の有無及び海外研究機関等の研究者との国際共著論文がある場合は必ず記載）</p> <p>【著書・論文（査読なし）】</p> <p>「余剰分配問題における Shapley 値流の解の特徴付けについて」千葉商大論叢 59 巻 3 号</p> <p>3. 主な経費</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SOTA の音声ライセンスの購入 ・PC の購入 <p>4. その他の特筆すべき事項（表彰、研究資金の受入状況等）</p> <p>なし</p>					
<small>（本文は <u>2 ページ以内</u>にまとめること）</small>					